



風の子だより



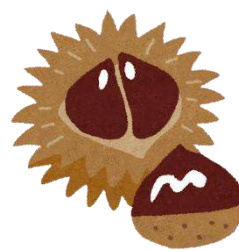
令和8年10月1日

挨拶から育む温かい心

校長 高島 恭子

朝夕の心地よい秋風に、深まる秋を感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先月の学校運営協議会では、学校運営の中間評価や教職員の業務見直し等についてご意見をいただきました。その際、集団登校の在り方についても話し合われ、「子供たちに挨拶をしても、返さなかったり目を合わせようとしなかったりすることがある」というお話がありました。また、悪天候の日には保護者の方の送迎が多く、見守り隊の方が立ってくださっていても歩いて登校する児童が一人もいない町内があることも共有されました。学校では元気に挨拶をしてくれる子供たちですが、地域で大人と子供が関わる機会が少ないことが背景にあるのではないかとというご指摘を受け、私自身、改めて「挨拶」の重みについて考えさせられました。



松下幸之助氏の著書『道をひらく』には、次のような一節があります。

さわやかな朝の空気を胸いっぱい、わが家の前の道を掃除する。勤めの早い近所の人々が向こうからやって来る。“おはようございます”“おはようございます”。

何気なくとりかわすこの朝のあいさつは、毎日の習慣のように、何でもないことのようには思えたりするのだが、私たちは、もう少しあいさつの大切さを考えてみたい。(中略)だれが考え出したのでもない。私たちの遠い祖先から伝わってきたこのあいさつというものは、いわばおたがいの毎日の暮らしの潤滑油とでもいった尊い働きを果たしているのである。

挨拶は単なる形式ではなく、相手の無事や幸せを願い、心を通わせる人間関係の基本です。心を込めて自ら進んで交わす言葉には温かみが宿り、お互いの信頼関係を深めてくれるでしょう。AIが日々進化し、ロボットが様々なことを成し遂げる時代になろうとしています。しかし、人と人との心を通わせることは、人間にしかできない大切な営みだと思います。

学校としては、今後、地域の方々と関わる活動等を積極的に取り入れ、家庭や学校だけでなく、地域の中で子供たちがたくさんの人と関わる機会を設けられるよう教育活動を工夫する必要があると考えます。挨拶を通して、地域に見守られながら、風の子の温かい心を育てていきたいと思えます。

今月は、学習発表会を開催します。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃の子供たちの学びの成果をぜひご覧いただき、温かい声援をお送りいただければ幸いです。

金銭教育出前講座

9月9日（水）に、富山第一銀行から講師をお招きし、5年生を対象とした「金銭教育出前講座」が行われました。

講師は小学校の元校長先生で、大人でも難しく感じるお金の話を、絵カードや実物のバナナを用いて分かりやすく説明してくださいました。

また、お金の使い方が変わってきていることも学びました。以前は紙幣や硬貨で行っていた買い物がデジタル決済でできるようになっていることについて子供たちは、「家族もよくスマホ決済をしている」「財布を持たなくてよくなった」「いつの間にかお金を使ってしまう」などと発言し、自分事として考える様子が見られました。

講座を通して、どのようにお金と付き合ったらよいかについて学ぶことができました。将来、お子さんが金融トラブルに巻き込まれないためにも、お金の使い方についてご家庭で話題にしてみられてはいかがでしょうか。



「SOSの出し方に関する教育」プログラム

教職員や5・6年生の子供たちを対象に、スクールカウンセラーを講師とした「SOSの出し方に関する教育」プログラムを実施しました。「SOSの出し方に関する教育」とは、子供たちが悩みや困難に直面した際、一人で抱え込まずに信頼できる大人や専門機関に助けを求める方法を学ぶ教育活動です。

5・6年生の授業では、スクールカウンセラーと担任がティームティーチングを行いました。「食欲がない」「眠れない」など、いつもと違うところはないかのセルフチェックをするとよいこと、困ったときに相談する相手を3人ほど思い浮かべておくことよいことを教わりました。また、担任が小学生だった頃、悩んだときにどうしていたかを聞くことで、悩みは誰にでもあることや、具体的な対処法を知ることができました。

「SOSの出し方に関する教育」プログラムを通して、悩みを相談することは恥ずかしいことではなく、自分を守るための正しい行動だということを学ぶことができました。周りにいる私たち大人も、日頃から子供たちの話を共感的に聞き、相談のしやすい環境をつくっていききたいものです。



（教頭 村井 悠子）

小学校生活最後の集団宿泊学習

「仲間と協力することができました」

宿泊学習の振り返りを読んでみると、ほとんどの子供たちがこのように書いていました。それほどまでに、小学校生活最後の宿泊学習は、「仲間と協力」できました。

協力する姿が特に多く見られたのは、登山やジョイフレンド、ピザづくりです。登山では、「ここは滑るから気を付けて」と声をかけたり、次の人が降りやすいように手を差し伸べたりする姿が見られました。ジョイフレンドでは、仲間と考えを巡らせ、壁登りやターザンロープを成功させようと、力を合わせる姿が見られました。ピザづくりでは、互いに声をかけ合い、それぞれの仕事に一生懸命取り組む姿が見られました。誰に言われなくても進んで洗い物をする、ピザが焼けそうになると自ら皿を運ぶなど、自ら考え、自ら行動していました。

「残り少ない学校生活も、仲間と協力していきます」と記した子供たち。今後の半年間の成長も楽しみです。

（6年2組担任 日置 理恵）



主体的に取り組む子供たち

本校では、研究主題「自ら課題を見付け、主体的に取り組む子供の育成を目指して」を掲げ、年間を通して授業研究を進めています。

9月28日（月）には、富山市小学校教育課程研修会として、5年3組が国語科の授業を公開しました。教材を読み、アンパンマンの作者である、やなせたかしさんの生き方について自分なりの考えをもった子供たちは、「アンパンマンを書き続けたやなせさんはすごい」「アンパンマンを描き続けたのは、正義とは何かを伝えたかったからではないか」と自信をもって発言していました。

9月29日（火）には、6年次教員研修会として、6年1組が社会科の授業を公開しました。貴族から武士の世の中へと変化していったことについて、自分が調べたことを基に「土地を守るためには命を懸けて戦う必要があった」と発言したり、友達の発言を聞いて「もっと調べたり考えたりしてみたくなった」と自分の取組を見直したりする姿が見られました。

参観された先生方からは、「温かい雰囲気の中で授業が進められていた」「子供たちがよく発言していた」という声が聞かれました。今後も、様々な学年、教科等における授業研究を行う中で、主体的に学習に取り組む子供たちの姿を目指していきます。

（教務主任 吉本 隼人）



10・11月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
28 研修会のため 13:00 下校 ※5年3組は 15:00 下校	29	30 委員会活動	10/1 校外学習 (6年1組・ガ ラス工房)	2 校外学習 (6年2組・ガ ラス工房)	3	4
5	6	7 就学時健康診 断 12:10 下校 ※5年は 15:15 下校	8 水曜校時 クラブ活動	9 校外学習 (1年・ファミ リーパーク)	10	11
12 ★ スポーツの 日	13	14 避難訓練 委員会活動	15	16 交通安全教室 (6年) スポーツ指導 員派遣事業 (5・6年)	17	18
19	20	21 校内学習発表 会 クラブ活動	22 連合音楽会 (5年・婦中ふ れあい館)	23 研修会のため 13:00 下校	24 学習発表会 11:40 下校 六葉会風の子 ゆめひろばフ ェスティバル (大沢野会館)	25
26 振替休業日	27	28 委員会活動	29 環境チャレン ジ10(4年)	30 校外学習 (3年・消防 局・警察署・さ さら屋)	31	11/1
2 研修会のため 14:30 下校	3 ★ 文化の日	4 校外学習 (4年・科学博 物館) クラブ活動	5 研修会のため 11:40 下校	6 こども園訪問 (5年1組)	7	8
9 研修会のため 13:30 下校 小中連携家庭 学習強化週間 (～15日)	10	11 こども園訪問 (5年2組) 委員会活動	12 避難訓練	13 学校保健委員 会	14 富山県小学生 火災予防研究 発表大会	15
16 チャレンジ陸 上記録会(6 年・県総合運 動公園)	17	18 クラブ活動	19 校外学習 (6年・金沢)	20 校外学習 (4年・八尾) こども園訪問 (5年3組)	21	22
23 ★ 勤労感謝の 日	24 水曜校時 委員会活動	25 火曜校時 心臓検診(1 年) 研修会のため 14:30 下校	26 校外学習 (5年・コカコ ーラ・ショウ ワノート)	27	28	29
30	12/1	2	3	4	5	6